

陳 情 文 書 表

(環境政策局)

(令和4年10月4日回付)

受 理 番 号	3 6 6 2	受 理 年 月 日	令 和 4 年 9 月 2 9 日
件 名	北陸新幹線延伸による水循環への影響の独自調査の実施等		
要 旨	<p>北陸新幹線京都延伸計画が千年の都京都の歴史・文化・自然と市民の暮らしを脅かしている。今回の計画で想定されるルートでは、美山から大阪に向かって京都市を縦断する巨大地下トンネルが建設されるということだが、由良川、桂川、そして北区雲ヶ畑の鴨川源流を横断することで、京都の水循環に深刻な影響を与えるのではないかとという大きな懸念がある。</p> <p>今回、大深度地下法で地下40メートルより深いトンネルを掘るわけだが、京都の河川の水源の下をトンネルが通るなどは過去に例がなく、水の流出や土砂崩れ、近隣の生活用水、農業用水、生態系への影響は全く未知数であり、京都市としてどのようなことを想定し対策を立てているのか明らかにすべきである。</p> <p>また、巨大地下トンネル建設が琵琶湖に匹敵する水量があると言われていた京都盆地の水脈を破壊し、地下水の水量、水質に深刻な被害を及ぼすであろうことも大きな問題である。京都は、地下水を使って伏見の酒造り、京料理、豆腐、湯葉、生ふ、和菓子、そばなどの食文化や京友禅等の伝統産業とも関わり、社寺仏閣の庭園等にも利用されている。地下水の汚濁や枯渇などの影響は、万が一にもあってはならないことだと考える。ルートはまだ確定していない状況だが、市内の地下を走ることとは明らかである。京都市として、市民生活に影響することについて独自に調査をし、問題がある場合は独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対して意見すべきと考える。</p> <p>ついでには、北陸新幹線京都延伸計画による巨大地下トンネル工事により河川や地下水などの水循環に影響が出ないように、京都市としての調査・対策などを明らかにすることを願う。</p>		
陳 情 者			
回付委員会	文化環境委員会		